

2026年7月3日

2026年度 極微量物質研究会(UTA 研)特別セミナー

…ダイオキシン類分析の GC-HRMS 測定技術に関する実務者セミナー…

(一社)日本環境測定分析協会
極微量物質研究会
委員長 高橋 厚

極微量物質研究会(UTA 研)は、年2回定期的に開催している UTA 研セミナーにおいて、会員全体のレベルアップを目指し、研究機関や関係省庁から講師の方をお招きした講演や、会員機関による発表を行い技術の向上と知識の共有を図ってきました。また、フリートークでは、様々な意見交換に時間を割き、現場技術者の課題解決のヒントやレベルアップにも繋がっています。一方で、国内のダイオキシン類問題では、ゴミ焼却炉のダイオキシン検出報道から40年、計量法の施行から30年が経過し、様々な地球環境問題への展開や調査研究・対策も動きだし、ダイオキシン類対策特措法(平成11年)やMLAP制度(平成13年)、そしてダイオキシン類分析法のJIS制定や環境省の各種マニュアル等が整備され、分析機関の拡充や環境改善がみられています。

このような中での UTA 研の活動は、日本のダイオキシン類測定分析技術の向上、精度管理及び会員各社の技術の研鑽にも大きく貢献してきました。しかしながら現状の課題として、現場の測定分析技術者の世代交代に伴う技術継承の難しさが課題とされています。それを踏まえ、今年度は UTA 研特別セミナーとして、「ダイオキシン類測定の GC-HRMS 分析技術に関する実務者セミナー」と題し、GC-HRMS を扱う実務担当者を対象とした特別セミナーを企画しました。

参加者におかれましては、ダイオキシン類分析の技術レベルを確認し、分析実務を通じて抱えている具体的な問題点、疑問点などを解決する良い機会です。奮ってご参加ください。

記

1. 主催 (一社)日本環境測定分析協会 極微量物質研究会
2. 日時 2026年10月16日(金)13:00~17:40
3. 場所 サーモフィッシャーサイエンティフィック (株) 大阪営業所*及び
中外テクノス (株) 関西支社**
* 大阪市淀川区 西中島 6-3-14 DNX 新大阪ビル
** 大阪市淀川区西中島 7 丁目 1-5ReTerra 新大阪(リテラ新大阪)2F
4. 定員 UTA 研の会員限定 先着 15 名 (最低実施人数 10 名)
5. 対象者 ダイオキシン類分析の GC-MS 実務を担当する技術者(経験年数 2 年以上)
準会員は特に規定なし。事前に技術的課題に関するアンケートを実施予定
6. 参加費 15,000 円、情報交換会参加費用 6,000 円/名
7. 募集締切 2026年8月7日(金)
8. 目的 ダイオキシン実務担当者の分析技術レベルの向上と課題解決のヒント

<プログラム概要>

- | | |
|-------------|--|
| 12:30- | 受付開始(中外テクノス(株)関西支社) |
| 13:00-13:05 | 開会の辞:委員長挨拶 |
| 13:05-13:25 | セミナー参加者自己紹介およびトラブル事例相談 |
| 13:25-13:55 | 講義:GC-HRMS 関係
講師:サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) |
| 13:55-14:05 | 移動 |
| 14:05-15:45 | GC-HRMS に関する実習(2グループに分かれてローテーション) |
| 15:45-15:55 | 移動 |
| 15:55-16:30 | 講義:ダイオキシン類分析全般(最近の技術的課題)
講師:(株)島津テクノリサーチ 高菅 卓三 氏(UTA 研技術顧問) |
| 16:30-16:40 | 休憩 |
| 16:40-17:40 | フリーディスカッション(Q&A) |
| 17:40-18:00 | 閉会の辞、移動 |
| 18:00- | 情報交換会 |

※プログラムは変更になる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

以上